

研究分野		授業科目名		科目責任者
形態系分野		腺腫瘍学研究		平 成人
開講年次	共通／専攻／選択		単位数	
1～4	必須専攻		20	
目的				
(1) 腫瘍学の研究者として基本的な知識を修得するため、癌の疫学、発生のメカニズム、診断、治療の全般を理解する。 (2) 主な研究対象である乳癌、甲状腺癌の生物学的特徴や臨床的問題点を把握する。 (3) 乳癌、甲状腺癌の新規治療薬の標的分子、作用メカニズム、臨床応用の可能性を理解し、評価する。 (4) がんサバイバーシップリサーチを学習し、現在の課題を理解する。 (5) 高齢者がん治療の諸問題、包括的機能評価の意義を理解する。				
授業到達目標				
(1) 乳癌、甲状腺癌の生物学的特徴を具体的に説明できる。 (2) 乳癌、甲状腺癌に対する新規治療薬の開発状況を説明できる。 (3) 乳癌、甲状腺癌におけるバイオマーカー開発状況を説明できる。 (4) がんサバイバーシップリサーチの確立したエビデンス、未解決の課題を説明できる。 (5) 高齢がん患者の諸問題と、包括的機能評価の意義を説明できる。				
授業計画				
月日	曜日	時間	担当者	授業内容
毎週	水	16:00 - 17:00	平 成人	(1) ライフスタイルと発がん、発がん後のライフスタイルとがんアウトカムについて (2) 高齢がん患者の包括的機能評価について
月1回	水	16:00 - 17:00 (交替)	山本 裕	(1) 乳癌の疫学、発生のメカニズム、診断、治療全般の解説と研究全般について (2) 乳癌・甲状腺癌細胞を用いた培養実験、生化学実験、フローサイトメトリー解析、免疫組織化学的実験等について
月1回	水	16:00 - 17:00 (交替)	野村 長久	乳癌の疫学、診断に関する研究全般について
月1回	水	16:00 - 17:00 (交替)	小池 良和	乳癌・甲状腺癌細胞を用いた培養実験、生化学実験、免疫組織化学的実験等について
評価方法				
(1) 1・2年次に中間発表へ出席する。 (2) 2年次に中間発表で発表する。 (3) APRIN e-ラーニングプログラム (eAPRIN) の必須単元を受講する。[受講期間：1年次に受講。] (4) 1週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ、科目責任者の認定印をもらい、学期ごとに提出する。				
課題 (レポート等) に対するフィードバック				
(1) 毎週、実験内容の報告会を開催し、実験の指導・助言を行う。 (2) 2か月ごとに教室員に向けて研究の進捗状況を報告する。				
教科書				
ISBN-9784307204507, 乳腺腫瘍学 第4版, 日本乳癌学会編, 金原出版, 2022				
参考書				
ISBN-9784307204415, 乳癌診療ガイドライン 1 治療編 2022年版 第5版, 日本乳癌学会編, 金原出版, 2022				
ISBN-9784307204422, 乳癌診療ガイドライン 2 疫学・診断編 2022年版 第5版, 日本乳癌学会編, 金原出版, 2022				
準備学習 (予習・復習等)				
(1) 実験前に、教科書・参考書等を読み、約1時間程度の予習を行う。 (2) 毎週、履修手帳に実験計画・内容を簡潔に記載する。 (3) 実験終了後、その日のうちにデータを記録し、提出する。				
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
(1) 卓越した研究成果をあげ、腫瘍学の深い学識を獲得する。 (2) 学術研究が国民からの信頼、負託に応えるものであることを理解し、高い倫理観を身につける。				
注意事項・メッセージ				
大学院生として、腫瘍学の勉強、実験に熱心に取り組んでください。 今回の研究結果が臨床応用可能となることが望まれます。				